

③【複数年度(1年目)】栃木県宇都宮市東部地域における新たな基幹交通の導入に伴う道路交通マネジメントについて(栃木県)

1. 実験概要、留意すべき項目

- LRTの試験走行及び本格運行の各時点における交通量データ等を収集・分析し、信号現示調整のほか、交通手段の転換(パーク&ライド)や目的地までの経路変更等による道路交通の円滑化を検証する。
- 新交通システム(LRT)導入によるパークアンドライド等の交通モード転換の分析は参考事例となる可能性が高く、推奨すべき取り組みとなること。

2. 今年度の調査内容、調査結果

- ① LRT試験走行時における既存道路CCTVを活用したAI画像解析による交通量の蓄積
⇒CCTV データからAI画像解析ソフトを用いて日別・時間別・車種別の実績交通量を算出し、AI 画像解析ソフトの検知率を確認、人手観測による交通量とAI 画像解析による交通量が概ね一致
- ② ETC2.0及び民間プローブデータを用いた旅行速度等交通状況データの蓄積
⇒ETC2.0 と民間プローブデータとの相関性を確認し、任意地点の旅行速度が概ね一致



3. 次年度の社会実験に向けて

実験メニュー	実験内容
LRT本格運行時における既存道路CCTVを活用したAI画像解析による交通量の蓄積	CCTVをAI画像解析し、交通量データを蓄積
ETC2.0及び民間プローブデータを用いた旅行速度等交通状況データの蓄積	ETC2.0及び民間プローブデータを蓄積・確認
自動車交通の渋滞緩和	LED表示機やSNS等により自動車運転者等に対して道路情報を提供
新たな公共交通を活用した道路交通の円滑化	トランジットセンターによる移動手段の選択を道路利用者に提案

③【複数年度(1年目)】栃木県宇都宮市東部地域における新たな基幹交通の導入に伴う道路交通マネジメントについて(栃木県)

4. 今後のスケジュール

- 令和5年8月～令和6年1月 : CCTV交通量、プローブデータ(民間・ETC2.0)蓄積
- 令和5年8月～9月 : LED表示機等による道路情報提供
- 令和5年12月～令和6年1月 : パーク&LRTライド実施
- 令和6年2月 : アンケート調査

5. 意見と検討、対応方針

意見	意見に対する検討、対応方針
車からLRTへの転換は、過去にPT調査を行った際の需要予測があると思うが、LRTの工事前後で市民等の意識も変化が起きていると思うので、アンケート調査レベルで現時点ではどの程度転換が見込まれるか把握してはどうか。	本社会実験期間中に宇都宮大学と連携し、市民のLRT利用意向確認について把握することとしたい。
LRT運行開始前後における、交通量や旅行速度等の変化を把握してほしい。	本社会実験において把握することとしたい。
市民に対するトランジットセンターの利用意向をアンケート調査の実施等により確認してはどうか。	トランジットセンターの利用料金設定も含め、利用意向調査については宇都宮市・芳賀町及び宇都宮ライトレール(株)と今後検討を行いたい。
LRTに転換してもらうのが肝要であるためトランジットセンターの料金設定が重要である。駅周辺の駐車料金を含めたトータルの利用料金の比較も必要	トランジットセンターの利用料金設定については宇都宮市・芳賀町及び宇都宮ライトレール(株)と今後検討を行いたい。
実験エリア内には主要渋滞ポイントもあるので、各地域の渋滞協議会フォーラムを続けてほしい。	本社会実験で得られたデータを活用しながら主要渋滞ポイントの対策等について検討を進めることとしたい。

6. 評価

- ・ 順調に実験が進んでいる。
- ・ 次年度の実施内容が具体化されているため、継続して実験を行うことが妥当と考える。